

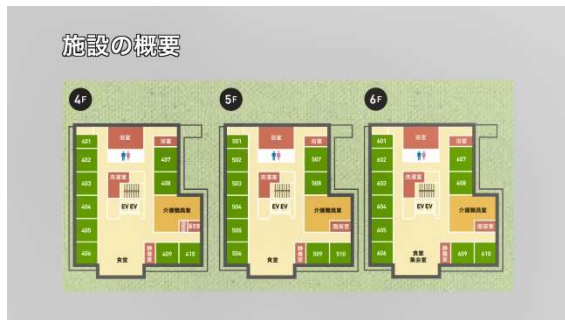
『社会福祉法人大阪自彊館の運営する救護施設について』の音声内容

	【社会福祉法人大阪自彊館の運営する救護施設について】 救護施設とは、どのような方が入所されているのか、どのような施設かを御理解いただくために、社会福祉法人大阪自彊館が大阪市西成区で運営している都市型救護施設について動画を用いて、御紹介しています。よろしくお願いします。
	【地域の風景】 大阪市西成区には、社会福祉法人大阪自彊館が運営する救護施設が複数あり、それぞれの施設は歩いていくことができる距離にあります。近くには今は閉校になりました今宮小学校や病院、コンビニなどがあり、施設は住宅が密集した地域にあります。
	【施設の周辺状況（白雲寮）】 一つ目の施設は「救護施設白雲寮」です。今宮小学校が道路を挟んで建っています。今宮小学校は、大正10年に開校し、平成27年に新しく小中一貫校として大阪市立新今宮小学校が開校したことに伴い、閉校となりましたが、今でも地域の芸術・文化活動などに開放されています。閉校前は、子どもたちが施設の前を通って通学をしていました。住宅地にある救護施設白雲寮は地下鉄花園町から徒歩8分のところに立地しています。令和4年6月2日に「救護施設じきょう」が新設されたことにより、白雲寮の入所者240名のうち180名が「救護施設じきょう」に移りました。現在の白雲寮は60名で運営しています。
	【施設の周辺状況（じきょう）】 次に、先ほど御紹介した「救護施設じきょう」です。こちらの「救護施設じきょう」も住宅地の中にある7階建ての施設で、地下鉄花園町から徒歩5分のところに立地しています。



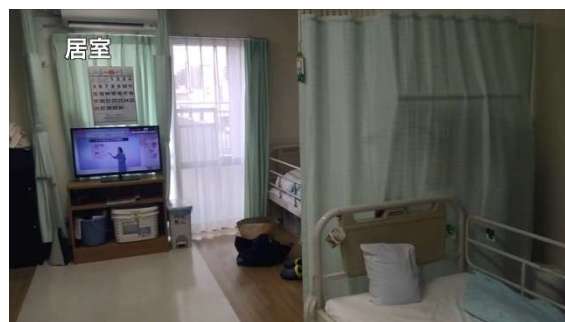
【施設の周辺状況（ひきふね）】

次に、障害者支援施設と併設している「救護施設ひきふね」です。平成28年3月に開設した7階建ての施設となっております。近くには商店街があり、賑わいのある街です。地下鉄動物園前から徒歩8分のところに立地しています。



【施設の概要】

この施設は、2階3階が障害者支援施設、4階より上が「救護施設 ひきふね」となっております。これから御紹介する施設内の様子は、この「救護施設ひきふね」で撮影したものです。



【居室】

まず、居室の様子です。居室については、原則、4人部屋となっております。カーテンで間仕切られ、プライバシーは保護されています。室内で体調のすぐれない方がいれば、すぐに職員に知らせていただいています。



【事務所の様子】

次に、事務所の様子です。事務所では、個々の利用者の身体状況などをしっかりと管理することができるよう、日々の状況を記録し、情報共有などを行うとともに、いつでも窓口で入所者の相談に職員が対応できるようになっています。夜間は4人の職員が、入所者の対応や防災対策を行っています。

救護施設の1日

時間	内容
6:00	点灯(起床)
7:30~	食事(食後:服薬管理)
9:00~	朝の体操・生活訓練
9:10~	職員連絡会
9:30~	看護師の巡回
10:00~	生活訓練・洗濯・外出
11:30~	昼食(食後:服薬管理)
13:00~	生活訓練等・散髪 等
16:00~	入浴
17:30~	夕食(食後:服薬管理)
21:00~	消灯(就寝)

【救護施設の1日】

次に、救護施設の1日についてです。

基本的には、6時に起床となります。7時30分から朝食となり、必要な方については、朝昼晩の毎食後に服薬管理を行っています。9時から、日課として体操があり、9時10分から朝の職員会議があります。職員会議では、夜勤の職員からの引継ぎやその日の予定の確認などを行います。9時30分から看護師と職員による居室の巡回があります。巡回の中で、入所者の体調やその日の予定の確認などを行います。10時から生活訓練や洗濯、通院や買い物に伴う外出などで過ごされ、11時半から昼食となります。13時から生活訓練や通院や買い物に伴う外出などで過ごされ、16時から入浴が可能となります。17時30分から夕食となり、就労されている入所者がいることを踏まえ、20時に閉門し、21時に消灯となります。

利用者の日常(食事①)



【利用者の日常(食事①)】

次に、利用者の食事の様子です。

利用者は、朝の7時30分から食堂で食事をとることができます。利用者の状態に応じた介助食、治療食、一般食を準備して、密を避けるために何回かに分けて、食事を提供しています。車いすを利用している方には、職員がしっかりとサポートします。

利用者の日常(食事②)



【利用者の日常(食事②)】

入所者の中には、糖尿病や高血圧などを患っている方もおられることから、食事の制限を受けている方などに対しては、その方に合ったきめ細やかな食事の提供を行っています。職員の後方の棚にある食事は個人ごとに用意した食事です。

利用者の日常(服薬管理)



【利用者の日常(服薬管理)】

次に、服薬管理の様子です。服薬管理の必要な利用者に対しては、職員がしっかりと各入所者の服薬を管理しています。薬は、入所者一人一人に手渡しで行い、その場で入所者に飲んでいただきます。しっかりと職員が薬を飲んでいることを確認しているため、薬の飲み忘れなどはありません。薬を飲まれていない方がおられた場合は、職員が声掛けを行い必ず服薬していただいています。

利用者の日常（朝の体操）



【利用者の日常（朝の体操）】

次に、朝の体操の様子です。

入所者は、食堂などに集まり、放送で流れる音楽に合わせて体操をするなど、リズムのある生活をされています。

職員会議



【職員会議】

次に、職員会議の様子です。

施設は24時間体制でサポートを行っています。そのため、職員会議では、夜勤の職員から入所者の夜間の様子についての報告、引継ぎを受け、各自の本日の予定や入所者の様子などを含めた情報を共有しています。

相談（看護師による巡回）



【看護師による巡回】

次に、看護師による居室への巡回の様子です。

居室への巡回をする中で、看護師と職員が入所者の個々の体調や本日の予定、相談ごとを聞き取ることにより、日々の入所者の状況を細かく確認することができます。

利用者の日常（生活訓練①）



【利用者の日常（生活訓練①）】

次に、生活訓練の様子です。こちらは、シーツ交換の準備を入所者と職員が共同で行っている様子です。入所者間でのコミュニケーションを大切にしながら、入所者のやりがいやステップアップにつなげています。

利用者の日常（生活訓練②）



【利用者の日常（生活訓練②）】

こちらは、軽作業を行っている様子です。

お弁当のカップをまとめているところです。

利用者の日常（生活訓練③）



【利用者の日常（生活訓練③）】

こちらは、食堂を入所者が掃除している様子です。

このように自分たちでできることは、分担を決め、今後の生活に向けた訓練をされています。

利用者の日常（生活訓練④）



【利用者の日常（生活訓練④）】

他にも、食堂以外のキッチンカウンターや階段手摺の拭き掃除を行ったりもされています。

利用者の日常（生活支援）



【利用者の日常（生活支援）】

次に、職員が入所者のひげを剃っている様子です。入所者の中には、自身で身の回りのことができない方もおられ、その場合は、職員がしっかりと支援します。

職員による面談



【職員による面談】

次に、入所者と職員の面談の様子です。面談は、日々行っており、入所者には、個別の支援計画があることから、職員が入所者の状況や希望を確認し、入所者の目標に向けた支援や面談を行いながら、入所者の自立に向けて取り組んでいます。

利用者の日常（外出時）



【利用者の日常（外出時）】

次に、外出の様子です。

外出時間は就労訓練に参加する方がいますので、6時から20時までとなっています。

入所者が外出する際は、受付で手続きをしたうえで、外出することになります。認知症を患っている方や転倒する可能性のある方などについては、職員が同行します。状態が不安定な方は外出を禁止して主治医の指示を受けることとなります。



【利用者の日常（外出時）】

こちらは、職員が同行している様子です。職員が車いすを押しながら、床屋まで同行しています。



【利用者の日常】

次に、利用者の日常の様子です。空いた時間は、部屋で過ごされたり、集会室でテレビを見たり、新聞を読んだりしながら穏やかに過ごされています。



【利用者の日常（地域貢献）】

最後に、入所者による地域貢献の様子です。職員がしっかりと見守りながら、地域の清掃活動などにも取り組んでいます。地域の中で生活をしている一員としての意識を持つことができるよう、取り組んでいます。



動画については、以上となります。御視聴ありがとうございました。